

当社IR情報サイトのご紹介

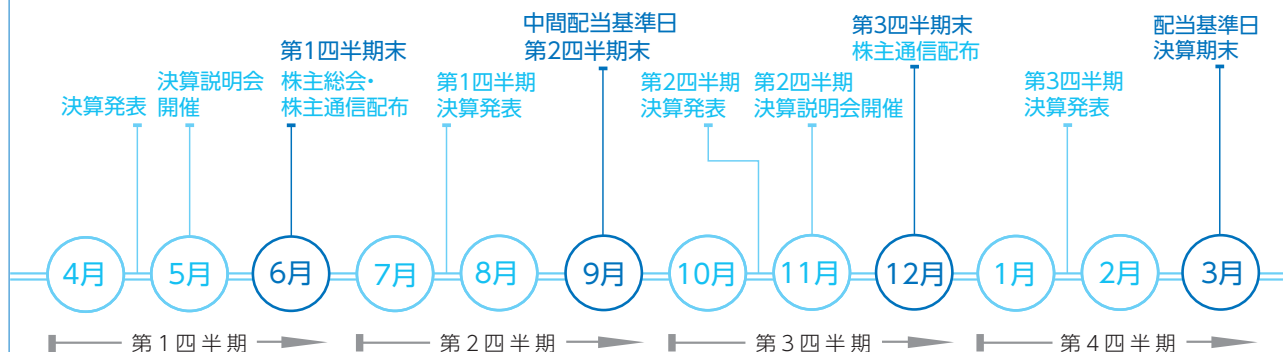
当社では、IR専用のウェブサイト을設けて、決算情報等のIR関連の情報をタイムリーに配信しております。また、株主・投資家の皆さま専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右下のQRコードからアクセスできます。

トップページのアドレスはこちらです。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/>



● IRカレンダー



2022年3月期

株主通信

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

新しいグループ理念とともに、医療の本質への追求と、 社会課題の解決を通じて、持続的な成長を実現してまいります



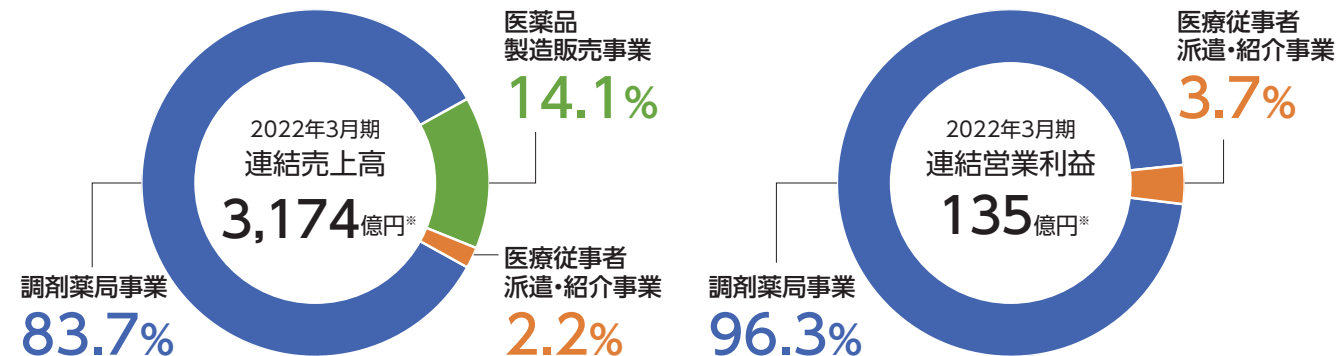
株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
日本調剤グループは1980年の創業以来、日本全国に良質な医療サービスを提供する調剤薬局事業をコアビジネスとして、医療に特化した幅広い事業サービスを提供しておりますが、時代の変化に合わせて当社グループの果たすべき責任を定義直し、社会の持続可能性を追求していくために、新たにグループ理念を策定し、2022年4月1日に公開いたしました。

「すべての人の『生きる』に向き合う」という使命を胸に、これからも当社グループは、皆さまの生活の一番近くで医療を担う者として、お一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い、あらゆる人の健康に貢献し、日本の医療課題に挑戦し続けてまいります。

また、ここ数年の新型コロナウイルス感染拡大の影響は、生活、消費、教育、医療などさまざまな社会活動を一変させ、あらゆる領域に多大な変化と、新たな社会課題をもたらしています。そのような社会課題への取り組みを加速させていくことを目的に、私が委員長を務める「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。さらに、グループ横断のサステナビリティ推進プロジェクトを立ち上げ、外部の有識者も交えた議論を行った上で、当社が優先的に取り組むべきマテリアリティ（重要課題）の特定を行いました。当社グループは、6つの重要課題グループに大別されるこの21のマテリアリティを踏まえて、事業活動を通じた社会貢献と経営基盤の強化の両面から取り組みを進めていきます。

当社は2022年4月より東京証券取引所プライム市場へと移行いたしました。引き続き医療の本筋を深く追求し、社会課題の解決に貢献するとともに、長期的視点に立った企業成長を実現していくことで、ステークホルダーの皆さまの期待に応えてまいります。

日本調剤株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 **三津原 庸介**



※連結売上高、連結営業利益は、3つの事業セグメントの合算数値です。調整額を控除しておりません。比率については、単位未満を四捨五入しております。
※医薬品製造販売事業については営業損失(△53百万円)のため連結営業利益のグラフには反映しておりません。

<p>調剤薬局事業</p> <p>日本調剤株式会社 その他調剤子会社</p>	<p>情報提供・コンサルティング事業</p> <p>株式会社日本医薬総合研究所</p>	<p>医薬品製造販売事業</p> <p>日本ジェネリック株式会社 長生堂製薬株式会社</p>	<p>医療従事者派遣・紹介事業</p> <p>株式会社メディカルリソース</p>
<p>調剤薬局のリーディングカンパニー</p> <p>売上高 2,656億円 営業利益 130億円 薬局店舗数 697店舗 (物販店舗1店舗を含む)</p>	<p>高付加価値情報サービスの提供</p> <p>医療ビッグデータを基盤に4つの事業でお客さまをサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医薬情報サービス ● 広告媒体サービス ● 調査・研究サービス ● データヘルス支援サービス 	<p>フルラインジェネリックメーカー</p> <p>売上高 448億円 営業利益 △0億円 販売品目数 642品目 (一般用医薬品2品目を含む)</p> <p>開発・製造拠点 5工場 1研究所</p>	<p>医療分野に特化した人材サービスカンパニー</p> <p>売上高 69億円 営業利益 5億円 信頼性</p>

※2022年3月末時点
※情報提供・コンサルティング事業の業績については連結決算上、調剤薬局事業セグメントに含めております。各数値は、単位未満を切り捨てしております。

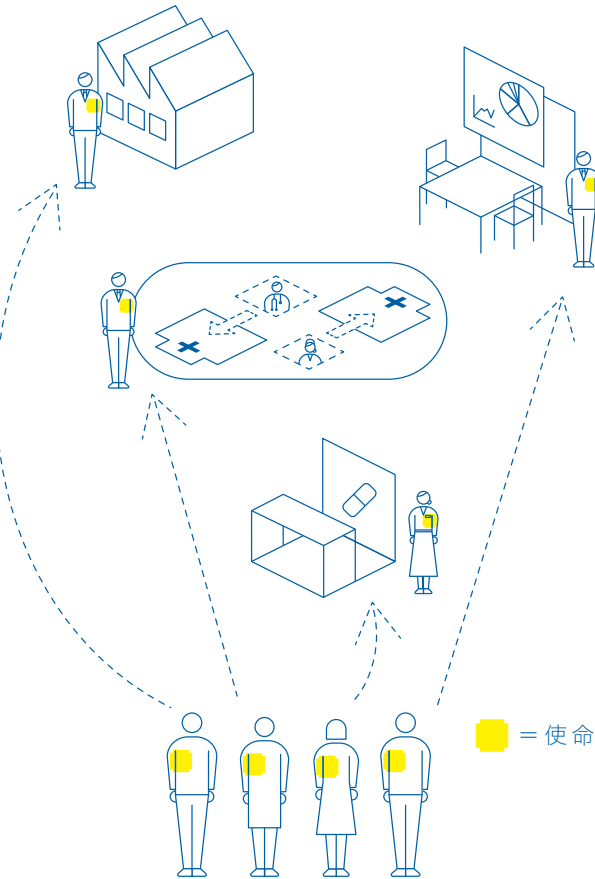


新たにグループ理念を策定

～ステークホルダーに向き合う姿勢と目指す姿を明文化／
多様な「生きる」に向き合い、幅広いアプローチで医療に貢献～

人生100年。生き方が多様化する時代。
生きることも意味もまた、ひとつではありません。
私たち日本調剤グループは、
人とデジタルの力を融合し、
あらゆる人の健康を支える調剤薬局をはじめ、
高品質で安価な医薬品の安定供給、
医療従事者のキャリアサポート、
医療データを活用した価値創造など、
医療を軸とした幅広い活動を展開。
プロフェッショナルとして専門性を究めながら、
枠に捉われない発想と行動で、
一人ひとりの「生きる」を支えていきます。
生活の一番近くで、一番に相談したくなる
ヘルスケアグループへ。

すべての人の「生きる」に向き合う、
日本調剤グループです。



私たちは共通の使命を胸に、
日々の医療を支えていきます。

日本調剤グループ理念

私たちの使命

すべての人の「生きる」に向き合う

あらゆる人の健康に資すること。これは創業から続く大切な想いです。私たちはこれまで、社会のすみずみまで医療が行きわたるように、さまざまな課題に挑戦してきました。これからもこの志を胸に、生活の一番近くで医療を担う者として、一人おひとりの「生きる」に真摯に向き合い、生涯にわたってあなたを支え続けます。

グループの目指す姿2030

誰もが一番に相談したくなる ヘルスケアグループへ

すべての人の「生きる」に向き合う。その壮大な使命は、私たちだけの力では果たせません。患者さま、医療関係者や研究機関、企業、行政など、あらゆる方々の声にまっすぐ向き合い、共創していくことが不可欠です。私たちは2030年に向けて、時代の先を見据えた医療のプロフェッショナル集団として真っ先に「相談してみよう」と思われるような、誰からも信頼されるヘルスケアグループを目指します。

日本調剤 グループニュース

2021年10月1日～2022年3月31日

さらに詳しいニュースリリースはこちら ▶ <https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/>



10月 『外来がん治療専門薬剤師』
暫定取得者が25名に
一薬局所属認定者の約3分の1
を占める人数—

12月 サステナビリティ委員会を設置
マテリアリティ(重要課題) 特定
P.10参照

1月 「お薬手帳プラス」
コミュニケーション機能
「つながる」お薬相談用 チャット
ボットを追加 P.8参照

2月 日本ジェネリック
カーボンニュートラル都市ガスの導入、
カーボンニュートラルLNGバイヤーズ
アライアンスへ加盟

3月 日本経済新聞朝刊の
「交遊抄」に当社社長の
コラムが掲載

3月 日本調剤 オンライン薬局
サービス「NiCOMS」の
公式サイトをオープン P.7参照

10月 マイナンバーカードによる
「オンライン資格確認」の
本格運用が開始

オンライン資格確認は、医療機関や薬局で患者さまが加入している医療保険の資格を、マイナンバーカードまたは保険証を利用しオンライン確認できるもので、当社では国によるプレ運用開始直後より本取り組みに協力してきました。2021年10月からの本格運用開始に合わせ、同年3月末までに閉局した663店舗での運用を開始しました。



12月 経産省が定める「DX認定取得
事業者」に認定～調剤薬局
業界では初*となる認定取得～

DX(デジタルトランスフォーメーション)認定制度は、経営ビジョンの策定やDX戦略・体制の整備を行い、DX推進の準備が整っている事業者を経済産業省が認定する制度です。今回、当社の取り組みが認定基準を満たしていること、ステークホルダーへの適切な情報開示をしていること等が評価され、本認定取得に至りました。



*2021年12月時点当社調べ

2月 日本調剤が運営する
来店型保険ショップ
「日本調剤ほけんショップ」で
東京海上日動あんしん生命の
保険商品を取り扱い開始

当社では薬局店舗に併設する形で、ファイナンシャルプランナー等の専門資格を持ったスタッフが生命保険や医療保険の相談にお応えする保険の代理店「日本調剤ほけんショップ」を展開しています。このたび「日本調剤ほけんショップ」では、アフラック、ネオファースト生命の保険商品に加えて、東京海上日動あんしん生命の保険商品の取り扱いを開始しました。3社それぞれの特性や商品力を活かし、お客さまに寄り添った保険のご案内ができるように努め、持病をお持ちの方やこれまで保険加入を諦めていた方を積極的にサポートしていきます。

2月 日本調剤 菅生薬局に非接触の
処方薬受け渡しロッカーを設置
～聖マリアンナ医科大学病院の
敷地内薬局で24時間いつでも
受取可能に～

聖マリアンナ医科大学病院の敷地内に位置する日本調剤 菅生薬局(神奈川県川崎市)に、処方薬受け渡し用のスマートピックアップロッカーを設置し運用を開始しました。これにより、日本調剤 菅生薬局ご利用の患者さまはもちろん、病院にお勤めの方々にも24時間いつでも非接触で安全に処方薬をお受け取りいただけるようになりました。



薬局内に設置されたスマートピックアップロッカー

3月 経産省が定める
「健康経営優良法人2022
(大規模法人部門)」に認定

当社グループは、「社員が安全に、健康な状態でいきいきと働くことができる職場づくり」を重要な経営のテーマと考え、2021年9月に健康経営宣言を行い、代表取締役社長を最高健康経営責任者とする健康経営推進体制のもと健康経営の強化を推し進めてまいりました。このたびの認定取得を機に、またサステナビリティの観点からも健康経営への取り組みをさらに強化し、ヘルスケア業界のトップランナーとして、全社一体感のある意欲的な活動を推進していきます。



3月 こだわりの無添加アミノ酸系
シャンプーにスカルプケア機能
をプラス! 日本調剤オリジナル
「NC スカルプシャンプー」を
新発売

安心・安全にこだわり好評を博しているオリジナル商品の新ラインナップとして「NC スカルプシャンプー」を発売しました。アミノ酸由来・植物由来の洗浄成分を使ったマイルド処方ですっきり洗い上げ、さらにダブルのスカルプケア成分配合で頭皮をすっきりさせます。また、ボトルには環境にやさしいバイオPETを使用し、石油由来のPET樹脂の使用量を減らしています。



「健康サポート薬局」 に適合 計 148 店舗 (2022年3月末時点)

- 10月**
- はーばす薬局
 - ザ ガーデン薬局
 - 熊本南薬局
 - 足利薬局
 - 石巻薬局
 - 矢巾薬局
 - アークス薬局
 - 池内薬局
 - 能見台薬局

- 11月**
- みわ薬局
 - 新大船薬局
 - 江別薬局
 - 日新薬局

- 12月**
- 前橋日赤前薬局
 - 六本木薬局
 - 和戸薬局
 - 西予薬局
 - 目黒駅前薬局
 - 山形薬局
 - 水戸薬局

- 福島薬局
- 浦和仲町薬局
- 練馬桜台薬局
- 春日部薬局

- 1月**
- 秋田薬局
 - 和歌山西薬局
 - 九番丁薬局
 - 八王子南口薬局
 - 辰野薬局
 - 盛岡中央薬局
 - 大森薬局

- 2月**
- ひろ薬局
 - つくば西大通り薬局

- 3月**
- ふじみ野薬局
 - 小浜薬局
 - 神楽坂薬局
 - 幡ヶ谷駅前薬局
 - 北十二条調剤薬局
 - 桑名中央薬局
 - 高島平薬局
 - 新大阪薬局
 - 上池袋薬局
 - 秦野薬局
 - 駿河台薬局

※健康サポート薬局とは、地域にお住まいの方や患者さまの健康の保持増進への取り組みを積極的に支援する機能を有する薬局です。健康サポート薬局になるには、厚生労働大臣が定める基準に適合する必要があります。

日本調剤 オンライン薬局サービス 「NiCOMS」公式サイトをオープン

2020年9月から運用を開始していたオンライン服薬指導システム「日本調剤 オンライン薬局サービス」の愛称を「NiCOMS」(ニコムス)とし、2022年3月1日に公式サイトをオープンしました。

無料でご利用できるオンライン服薬指導システムで、予約機能・ビデオ通話機能・お支払い機能を備え、全国の日本調剤の薬局で導入・運営しており、今回開設した公式サイトでは「ご利用ガイド」やご利用者向けの「お知らせ」などのサポート機能のほか、「インタビュー」ページではオンライン診療を行う医師やオンライン服薬指導の経験豊富な薬剤師の声を紹介しています。



「NiCOMS」とは

NiCOMSは、日本調剤の全店舗で導入しているオンライン服薬指導サービスです。自宅などからスマートフォンやパソコンで簡単にご利用いただけます。また、ご自宅までお薬のお届けもします。

詳細はこちら

<https://nicoms.nicho.co.jp/about/>



NiCOMSの 嬉しいポイント

- ビデオ通話でわかりやすくお薬の説明
- 日付と時間を決めて予約できる
- お薬をご自宅まで配送
- クレジットカードでカンタン決済
- 登録、システム利用料無料
- お薬手帳アプリにお薬を自動登録*

※日本調剤 電子お薬手帳「お薬手帳プラス」本会員限定の機能です

ご利用の流れ

NiCOMSのオンライン服薬指導は、スマホまたはパソコンで簡単にご予約いただけます。ご利用の端末で服薬指導を受けたら、キャッシュレスでお支払い。ご自宅までお薬をお届けします。



※1 代引き支払いもご利用いただけます ※2 ご自宅以外のお届けはご相談ください

電子お薬手帳 「お薬手帳プラス」の会員数が 100万人を突破!

お薬の受け渡しまでの待ち時間を有効活用できる「処方せん送信機能」の他に、日々の健康管理に便利な体重・血圧・血糖値などを数値・グラフで記録できる「健康記録機能」、病院や薬局の通院記録などを登録できる「カレンダー機能」や、お薬の服用時間にアラームでお知らせができる「飲み忘れ防止アラーム機能」など充実した機能をそろえています。また、日本調剤の薬局でお渡したお薬については、

来局ごとのお薬情報が

自動登録*されます。

※本会員限定の機能です

登録
ダウンロード
無料



コミュニケーション機能「つながる」に お薬相談用チャットボットを追加

患者さまと薬局がショートメッセージ形式でコミュニケーションをとることができる本会員限定の機能「つながる」に、お薬に関する相談ができるチャットボットを追加しました。お薬の服用方法やお子さまへの飲ませ方、服用タイミングや服用後の体調など、お薬に関する疑問が生じた際に気軽に相談することができます。新型コロナウイルス感染症流行に伴い、外出控えが続く状況下でも患者さまが安心して治療・服薬を続けられるようサポートいたします。

※2022年1月18日よりアプリバージョン: Android版4.1.23、iOS版 4.1.21でご利用いただけます。



● 医薬品製造販売 ●

ジェネリック医薬品3品目(1成分)を発売

日本ジェネリック㈱では、2021年12月にジェネリック医薬品3品目(1成分)の販売を開始しました。

12月販売の新製品

抗てんかん剤	●レベチラセタム錠	250mg[JG]／500mg[JG]
	●レベチラセタムドライシロップ	50%[JG]



レベチラセタム錠
250mg[JG]

レベチラセタム
ドライシロップ
50%[JG]

ジェネリック医薬品5製品(2成分)の製造販売承認を取得

日本ジェネリック㈱は、2022年2月にジェネリック医薬品5製品(2成分)の製造販売承認を取得いたしました。6月に薬価収載され、販売を開始する予定です。

6月新規薬価収載による新製品

非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤／ 高尿酸血症治療剤	●フェブキシ スタット錠	10mg[JG]／20mg[JG]／ 40mg[JG]
	●ダサチニブ錠	20mg[JG]／50mg[JG]



フェブキシスタット錠
10mg[JG]

ダサチニブ錠
20mg[JG]

● 医療従事者派遣・紹介 ●

厚生労働省より「医療分野における適正な有料職業紹介事業者」に認定

(株)メディカルリソースは2021年11月、厚生労働省の「医療・介護・保育分野における適正な有料職業紹介事業者の認定制度」において、「医療分野における適正事業者」に認定されました。

当制度は、業界団体等が取りまとめた「適正な有料職業紹介事業者の基準」をもとに、有料職業紹介事業者を「適正事業者」として認定するものです。これにより求人者(医療機関・介護施設・保育施設等)は、有料職業紹介事業者の利用に際して、あらかじめサービスの内容・品質・費用等についての概要を知った上で、適正な事業者を選択できるようになります。

本制度の創設元年となる今回は、全分野を通じて19社のみが認定を受けました。(株)メディカルリソースは今後も適正な業務運営のもと、求人者・求職者に配慮したより良いサービスの提供に努めてまいります。



01015
認定番号:01015(1)
認定職種:医師・看護師・
薬剤師

● グループ全体 ●

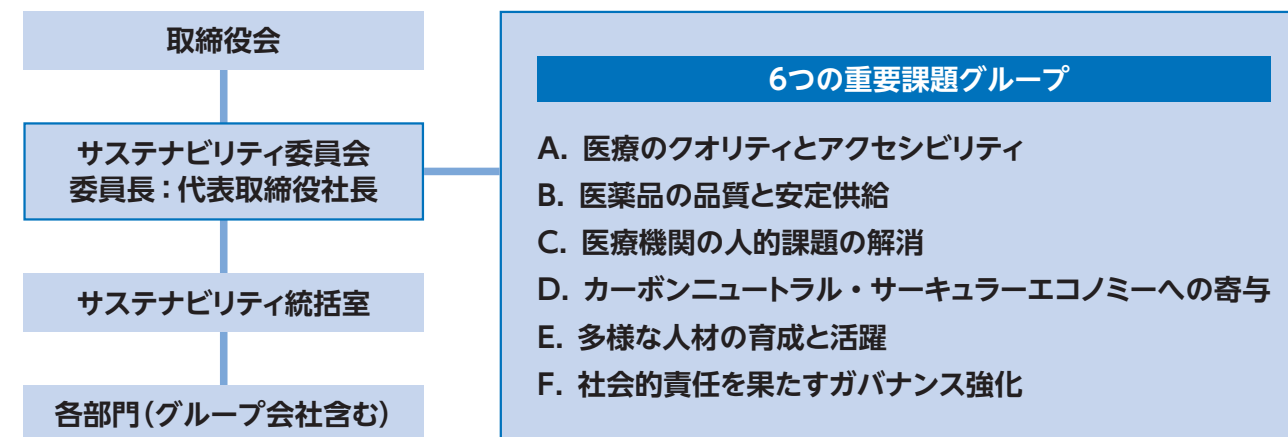
サステナビリティ委員会を設置し、マテリアリティ(重要課題)を特定しました

社会課題や環境問題が深刻化する中、当社グループでは、サステナビリティを重要な経営テーマと考え、サステナビリティへの取り組みをより一層強化し実行するため、「サステナビリティ基本方針」を策定し「サステナビリティ委員会」を設置しました。

また、持続可能な社会への貢献に求められる21のマテリアリティ(重要課題)を特定しました。6つの重要課題グループに大別されるマテリアリティを踏まえて、事業活動を通じた貢献と経営基盤の強化の両面から取り組みを進めていきます。

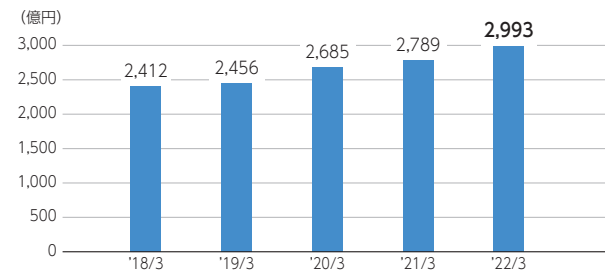
サステナビリティ基本方針

私たち日本調剤グループは、サステナビリティを中長期的な企業価値向上に向けた経営戦略の重要事項と認識しています。あらゆるステークホルダーとの対話・協働のもと、人権を尊重し、環境保全に配慮した公正で透明性の高い経営基盤を構築します。そして、事業活動を通じて医療・ヘルスケア分野における社会課題の解決に取り組み、社会の持続可能性を追求していきます。



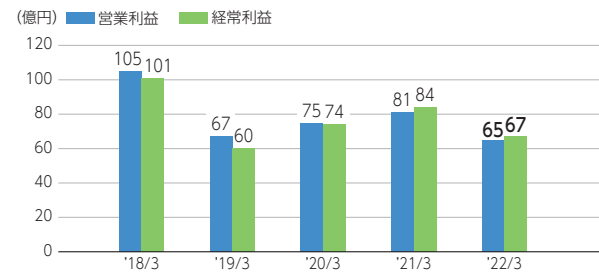
■売上高

調剤薬局事業は、前期の出店効果及び処方箋枚数の増加等により8.8%の増収。医薬品製造販売事業は、昨年4月の薬価改定に伴い既存製品の販売価格が下落するも、2019年以降の新規薬価収載品の好調な販売により1.9%の減収。また医療従事者派遣・紹介事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による薬剤師派遣の需要減で16.7%の減収となるも、全体としては7.3%の増収を確保。



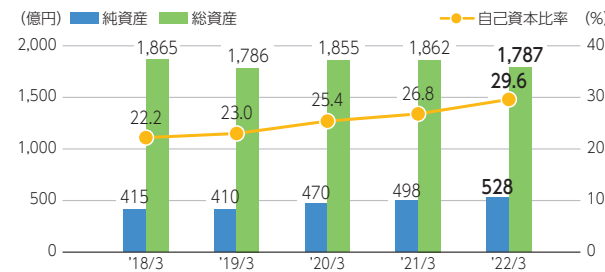
■営業利益及び経常利益

長生堂製薬の品質問題を原因とする不良資産処理に伴い、医薬品製造販売事業が一時的に損失を計上したこと等により営業利益は18.7%の減益、経常利益は19.5%の減益。なお、長生堂製薬における業務改善の進捗については、公表している改善計画に基づき順調に改善中。また出荷調整品目に関しても、販売再開に向けて現在取り組みを進めている状況。



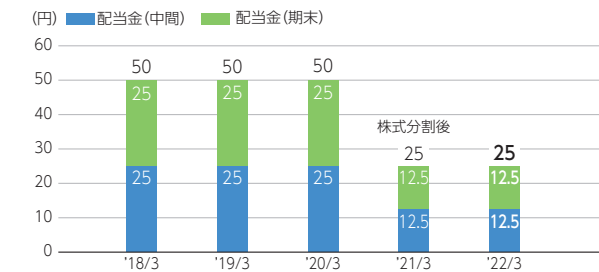
■総資産、純資産及び自己資本比率

当期末の総資産は主に現金及び預金の減少により、前期末比7,509百万円減少。負債は、主に長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少により、10,517百万円減少。純資産は3,008百万円増加。これらの結果、自己資本比率は前期末よりも2.8ポイントアップの29.6%となり、自己資本比率の改善ならびに財務安定性が向上。



■1株当たり配当金

2022年3月期は、中間配当12.50円+期末配当12.50円=年間配当25円にて実施。なお現時点において2023年3月期では増収増益予想の下、当期と同額の中間配当・期末配当を計画。引き続き当社としては安定性と継続性を重視した配当、そして機動的な資本政策の実施に努めていく方針。



※当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

■連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2021/3	2022/3
売上高	278,951	299,392
売上原価	229,577	246,969
売上総利益	49,374	52,422
対売上比 (%)	17.7%	17.5%
販売管理費	41,267	45,833
対売上比 (%)	14.8%	15.3%
消費税等	17,828	19,437
研究開発費	2,776	3,411
営業利益	8,106	6,589
対売上比 (%)	2.9%	2.2%
経常利益	8,409	6,767
対売上比 (%)	3.0%	2.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,538	3,705
対売上比 (%)	1.3%	1.2%
1株当たり当期純利益(円)	118.01	123.56

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2021/3	2022/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,213	19,411
税金等調整前当期純利益	6,483	6,217
減価償却費	6,416	6,569
のれん償却額	1,763	1,814
売上債権の増減額(△は増加)	△20	1,185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△694	△4,147
仕入債務の増減額(△は減少)	1,250	4,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,767	△9,313
有形固定資産の取得による支出	△5,955	△5,956
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△823	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,806	△17,448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	639	△7,350
現金及び現金同等物の期首残高	32,254	32,893
現金及び現金同等物の期末残高	32,893	25,543

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2021/3	2022/3
流動資産	89,246	81,651
固定資産	97,015	97,102
有形固定資産	64,785	64,025
無形固定資産	18,952	18,969
投資その他の資産	13,277	14,107
資産合計	186,262	178,753
流動負債	87,720	78,931
固定負債	48,673	46,944
負債合計	136,394	125,876
純資産合計	49,868	52,876
自己資本	49,868	52,876
自己資本比率	26.8%	29.6%

営業活動によるCFは、税金等調整前当期純利益と償却費の合計額が、投資活動CFをカバーできる水準を維持し、長期借入金の返済により財務活動CFのマイナスは拡大する。

営業活動CFの主な収入項目は、税金等調整前当期純利益6,217百万円、減価償却費6,569百万円。投資活動CFの主な支出項目は、調剤薬局事業の新規出店及び医薬品製造販売事業の設備投資を主とした有形固定資産取得による支出5,956百万円。財務CFは、借入金の返済が進んだことにより17,448百万円の支出となる。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比7,350百万円減の25,543百万円となる。

会社概要

商号 日本調剤株式会社
 設立 1980年3月
 本社所在地 〒100-6737
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 グラントウキョウノースタワー37階
 03-6810-0800 (代表)
 資本金 39億5,302万円
 連結売上高 2,993億円 (2022年3月期)
 従業員数 正社員 4,458名 パート他 735名
 ※パート他は8時間換算に基づく年間平均雇
 用人数であります。
 事業形態 保険調剤薬局チェーンの経営

役員 (2022年6月23日現在)

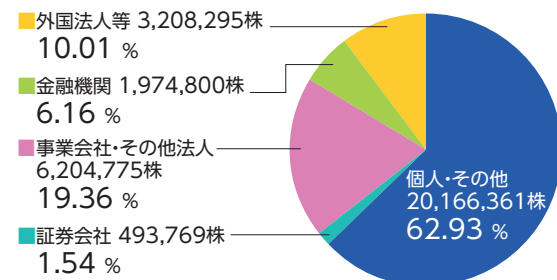
代表取締役社長 三津原 庸介 取締役 恩地 祥光
 常務取締役 笠井 直人 取締役 野間 幹晴
 取締役 宮田 徳昭 取締役* 畠山 信之
 取締役 小柳 利幸 取締役* 東葭 新
 取締役 小城 和紀 取締役* 原田 史緒
 取締役 藤本 佳久
 取締役 増原 慶壮

(注)1. 取締役の恩地 祥光、野間 幹晴、東葭 新、原田 史緒は社外取締役であります。
 2. ※は監査等委員であります。

株式状況

発行可能株式総数 88,384,000株
 発行済株式の総数 32,048,000株
 株主数 9,558名

所有者別株式分布状況



(注)1. 当社所有の自己株式2,061,175株については、個人・その他に含めております。
 2. 比率については、小数点3位を四捨五入しております。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三津原 庸介	6,640,000	22.14
三津原 博	4,800,000	16.01
株式会社三津原興産	3,600,000	12.01
有限会社マックスプランニング	2,240,000	7.47
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,554,200	5.18
日本調剤 従業員持株会	975,000	3.25
三津原 陽子	800,000	2.67
姚 恵子	538,600	1.80
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	400,000	1.33
SMBC日興証券株式会社	176,800	0.59

(注)1. 出資比率については、自己株式2,061,175株を控除して計算しております。
 2. 出資比率については、小数点3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 受領株主確定日
 中間配当金 毎年9月30日
 受領株主確定日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
 公告の方法 電子公告 公告掲載URL
<https://www.nicho.co.jp/>
 ただし、電子公告によることができない事
 故、その他のやむを得ない事由が生じた
 ときは、日本経済新聞に公告します。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当の状況

	2021年3月期	2022年3月期
中間配当	12.50円	12.50円
期末配当	12.50円	12.50円
配当性向	21.2%	20.2%

株主優待のご案内

毎年9月30日、3月31日の基準日に当社株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主さまを対象に、「日本調剤オンラインストア」で使える優待券を以下のとおり年2回贈呈いたします。

保有株式数	優待内容(年2回)
100株以上 500株未満	当社オンラインストア 優待券 1,500円分 (1,500円分の優待券1枚) 年間優待額: 3,000円
500株以上	当社オンラインストア 優待券 7,500円分 (1,500円分の優待券5枚) 年間優待額: 15,000円